

取扱説明書

UX-LP5

安全上のご注意ーはじめにお読みください

▼絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。

これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してか ら本文をお読みください。



この表示の注意文を無視して、誤った取り 扱いをすると、「死亡または重傷を負う可 能性が想定される」内容を示しています。

<u></u> 注意

この表示の注意文を無視して、誤った取り 扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害 が想定される」内容を示しています。

▼絵表示の説明

注意をうながす記号

感雷





手を挟まれ

ないよう注意







分解禁止



水場での

使用禁止

行為を禁止する記号





接触禁止 ぬれ手禁止 水ぬれ禁止





行為を指示する記号

一般的指示 電源プラグを 抜く

© 2009 Victor Company of Japan, Limited

LVT2050-001A T0509KMMMDWCDT



一般的注意

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめ

煙が出ていたりへんなにおいがするとき

- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出や断線など) すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜い てください。このような異常が発生したまま使用している と、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認 してから販売店に修理を依頼してください。お客様による



修理は危険ですから絶対におやめください。 分解や改造をしない、カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い 上げの販売店にご依頼ください。



風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。



本機の上に火のついたものを置かない。 火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。

本機の中に物を入れない。 通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいも

のが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さなお子 様のいるご家庭ではご注意ください。

表示された電源電圧(交流100ボルト)以外で使用しない。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となりま

This set is designed for use in Japan only and cannot be



電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特 に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- ・電源コードを無理に曲げない
- ・ 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- ・電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災 や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱 を持ち危険ですのでしないでください。



電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって 湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となりま す。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこ りを乾いた布で取り除いてください。



本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を 置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、 火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。 感電の原因となります。



本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の 届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因と なることがあります。電源プラグを持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。



長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れていま す。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてく



置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- ・ 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となるこ とがあります。



お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れていま す。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因とな ることがあります。



移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因とな ることがあります。



電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。

- 電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断され ません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。
- 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起き た場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。



はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因と なることがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げて おき、電源が入ってから徐々に上げてください。



ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪 い影響を与えることがあります。



ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家 庭ではご注意ください。



3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となること があります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果 的です。



可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や 故障の原因となることがあります。



本機の上に重いものを置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置く と、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因とな ることがあります。



電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・け がや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意して

- ・ 指定以外の電池を使用しない
- ・ 電池のプラス(+)とマイナス(-)を間違えない
- ・ 電池のプラス(+)とマイナス(-)をショートさせない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- ・ 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 電池を加熱しない • 分解しない
- 火や水の中に入れない
- ・ 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液 をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたとき は、水でよく洗い流してください。使い終わった電池は、自治体の 指示に従って廃棄してください。



リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶 縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。

他の金属片等とそのまま一緒に廃棄すると、ショートして発火や 破裂の原因となることがあります。

レーザー製品についてのご注意

- 1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1レーザー製品
- 2. 注意:機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、 改造はしないでください。
- 3. 機器内部には、以下のラベルがあります。

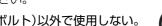


注意: ここを開くと可視及び/または不可視のクラス 1 Mレー ザー放射が出ます。光学装置で直接見ないでください。



欧州連合のリサイクルマークです。





す。本機を使用できるのは日本国内のみです。

used in any other country.



保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。 「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載 内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買上げの日から 1 年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り 後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必 要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

で転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」(別紙)をご覧の うえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

出張修理

8ページの「故障かな?と思ったら」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの 販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品	名	マイクロコンポーネントシステム
型	名	UX-LP5
お買い上げ日		年 月 日
故障の状況		できるだけ具体的に
ご 住	所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名	前	
電話番	号	
訪問ご希望日		
便利メモ	お買	い上げ店名 君 () -

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望に より有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料

故障した製品を正常に修復するための料金で す。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障 診断、修理および部品交換、調整、点検にかか る費用です。

部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に 付帯する部材等を含む場合もあります。

製品のある場所へ技術者を派遣するための費 出張料 用です。別途、駐車料金をいただく場合があ ります。

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱い いたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
- ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
- ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- ・ 湿気やほこりの多い所 バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く OA 機器やけい光灯のすぐそば
- 直射日光の当たる所 ・ 風通しの悪い狭い所 極端に寒い所 振動の激しい所
- ・ 他のアンプ、チューナーのそば
- ・ 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃~35℃です。この範囲外の温度で使用する と、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できな い場合があります。

- ・ 暖房を始めた直後 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を入れたまま約1~2時間待ってから、ご使用くださ (,)

- データのお取り扱いについて • 本機の故障または不測の事態などにより、再生において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。 大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。
- 本機と接続機器間での再生のときに、データの消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

別売りのオプション品

- ステレオミニプラグコード
- アンテナコード
- アンテナコネクター
- FMフィーダーアンテナ

- :CN-203A(1.5m)
- :VX-22A(1m)

ぶきしてください。

しみください。

環境を守りましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

らないような音量でお聞きください。

- :VZ-71A(300Ω/75Ω対応)
- :CN-511A(300Ω対応)

/ アンテナコネクター VZ-71Aと 1 一緒に使います。

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい

ときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからから

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけ

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽

ないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかか

特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めた りヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。 品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、 お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社

お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター

別紙の「ビクターサービス窓口案内」 をご覧ください。

携帯電話・PHS・FAX などからのご利用は 電話(045)450-8950

00 0120 - 2828 - 17

FAX (045) 450 - 2275 〒 221-8528 横浜市神奈川区守屋町 3-12

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、左記をご覧ください。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12